

平成 30 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 ミヤコ株式会社
代表者名 代表取締役社長 東田 勝
(JASDAQ・コード 3424)
問合せ先 管理部長 松田 博幸
電話 06-6352-6931

(訂正・数値データ訂正)「平成 31 年 3 月期 第 2 四半期決算短信[日本基準] (非連結)」
の一部訂正について

平成 30 年 11 月 9 日に公表しました「平成 31 年 3 月期第 2 四半期決算短信[日本基準] (非連結)」の一部に訂正すべき事項がありましたので、訂正後の数値データにつきましても再提出いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の内容

(1) サマリー情報

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期の業績 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日) (2) 財政状態

(2) 添付資料

① 2 ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 財政状態に関する説明①資産、負債及び純資産の状況
② 4 ページ 2. 四半期財務諸表及び主な注記 (1) 四半期貸借対照表

2. 訂正の理由

財務諸表のうち、「四半期貸借対照表」の数値に一部誤りがありましたので、これを訂正するものであります。
なお、この訂正に伴う損益への影響はありません。

サマリー情報

1. 平成31年3月期第2四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）（2）財政状態

<訂正前>

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	<u>5,174</u>	<u>3,798</u>	<u>73.4</u>	<u>1,386.21</u>
30年3月期	5,256	3,686	70.1	1,345.21

（参考）自己資本 31年3月期第2四半期 3,798百万円 30年3月期 3,686百万円

<訂正後>

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	<u>5,086</u>	<u>3,710</u>	<u>73.0</u>	<u>1,354.13</u>
30年3月期	5,256	3,686	70.1	1,345.21

（参考）自己資本 31年3月期第2四半期 3,710百万円 30年3月期 3,686百万円

添付資料

2 ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）財政状態に関する説明①資産、負債及び純資産の状況

<訂正前>

（資産）

流動資産の残高は、前事業年度末に比べて1億4千3百万円減少し、41億9千7百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が1億4千1百万円増加したものの、売上債権が2億6千8百万円、商品及び製品が2千6百万円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べて6千1百万円増加し、9億7千7百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の時価が上昇したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて8千2百万円減少し、51億7千4百万円となりました。

（負債）

流動負債の残高は、前事業年度末に比べて1億9千7百万円減少し、12億8千2百万円となりました。

これは主に、仕入債務が1億3千7百万円、未払法人税等が4千7百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億9千4百万円減少し、13億7千5百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度に比べて1億1千2百万円増加し、37億9千8百万円となりました。

これは主に、四半期純利益9千1百万円を計上したことによるものです。

<訂正後>

（資産）

流動資産の残高は、前事業年度末に比べて1億4千3百万円減少し、41億9千7百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が1億4千1百万円増加したものの、売上債権が2億6千8百万円、商品及び製品が2千6百万円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べて2千6百万円減少し、8億8千9百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の時価が低下したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1億7千万円減少し、50億8千6百万円となりました。

（負債）

流動負債の残高は、前事業年度末に比べて1億9千7百万円減少し、12億8千2百万円となりました。

これは主に、仕入債務が1億3千7百万円、未払法人税等が4千7百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億9千4百万円減少し、13億7千5百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度に比べて2千4百万円増加し、37億1千万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が2千5百万円減少したものの、四半期純利益9千1百万円を計上したことによるものです。

4 ページ 1. 四半期財務諸表及び主な注記 (1) 四半期貸借対照表

<訂正前>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成 30 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成 30 年 9 月 30 日)
(省略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	301,617	391,120
繰延税金資産	68,419	41,049
その他	202,341	205,230
貸倒引当金	△464	△464
投資その他の資産合計	571,913	636,935
固定資産合計	915,982	977,019
資産合計	5,256,751	5,174,337

(単位：千円)

	前事業年度 (平成 30 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成 30 年 9 月 30 日)
(省略)		
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	132,729	194,862
評価・換算差額等合計	132,729	194,862
純資産合計	3,686,439	3,798,801
負債純資産合計	5,256,751	5,174,337

<訂正後>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成 30 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成 30 年 9 月 30 日)
(省略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	301,617	264,490
繰延税金資産	68,419	79,773
その他	202,341	205,230
貸倒引当金	△464	△464
投資その他の資産合計	571,913	549,029
固定資産合計	915,982	889,112
資産合計	5,256,751	5,086,430

(単位：千円)

	前事業年度 (平成 30 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成 30 年 9 月 30 日)
(省略)		
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	132,729	106,955
評価・換算差額等合計	132,729	106,955
純資産合計	3,686,439	3,710,895
負債純資産合計	5,256,751	5,086,430